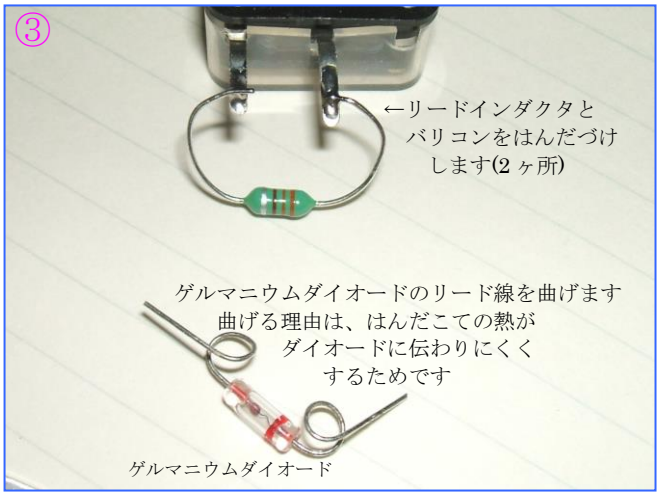
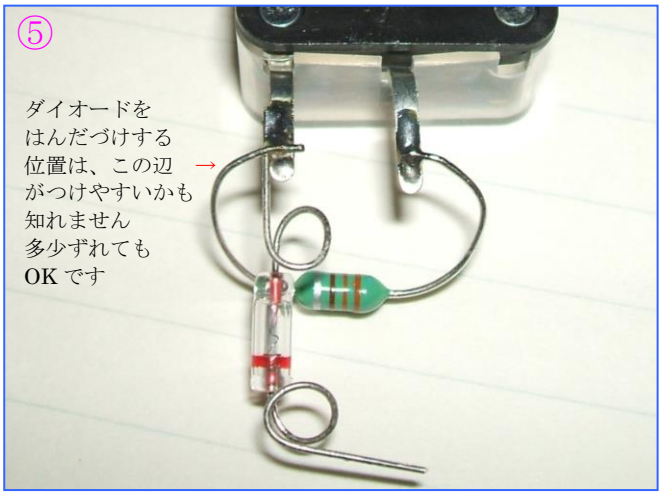
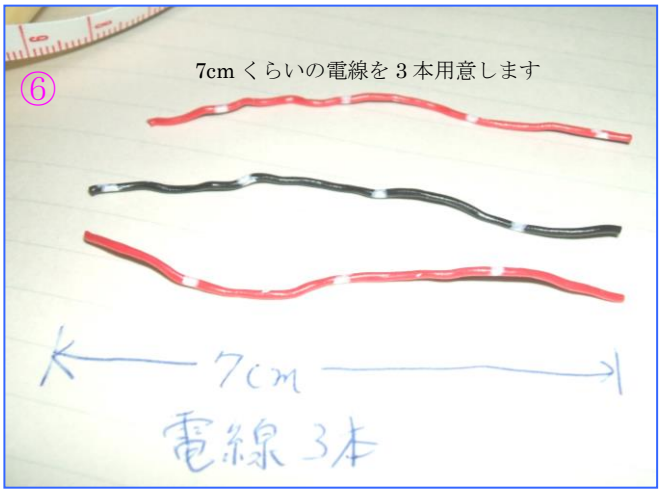
①
→
バリコンの端子をゆっくり曲げます

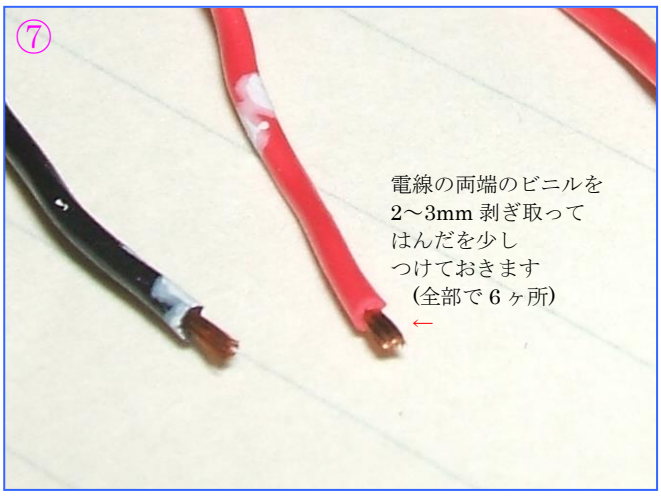
②
リードインダクタのリード線を曲げ
リード線の長さをニッパで切りながら
はんだづけしやすいよう調節します
リードインダクタ

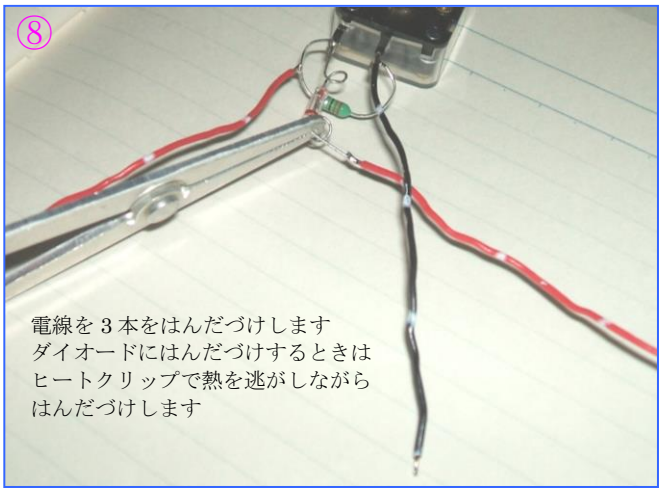

③
←リードインダクタと
バリコンをはんだづけ
します(2 ヶ所)
ゲルマニウムダイオードのリード線を曲げます
曲げる理由は、はんだこての熱が
ダイオードに伝わりにくく
するためです
ゲルマニウムダイオード

④
ヒートクリップで
はんだこての熱を
逃がしながら
ダイオードを
はんだづけします
(1 ヶ所)

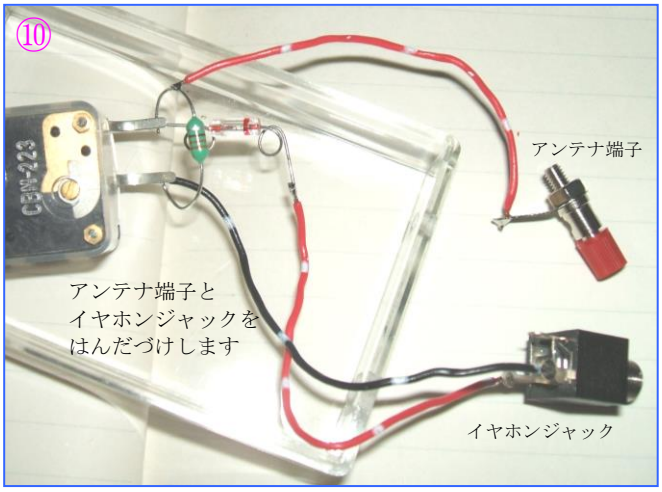

⑤
ダイオードを
はんだづけする
位置は、この辺
がつけやすいかも
知れません
多少ずれても
OK です


⑥
7cm くらいの電線を 3 本用意します
7cm
電線3本

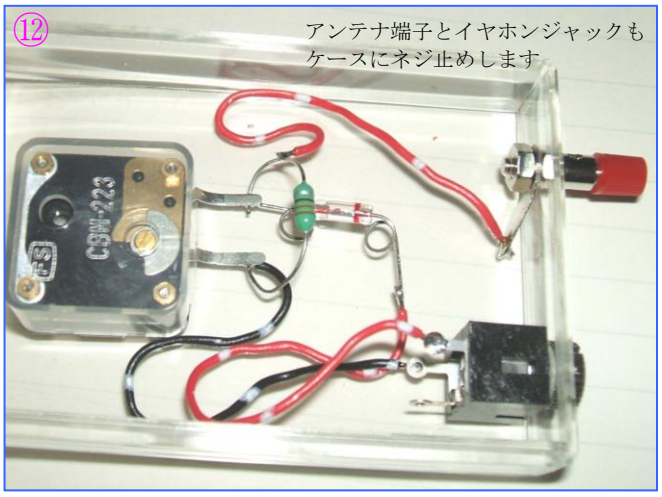

⑦
電線の両端のビニルを
2～3mm 剥ぎ取って
はんだを少し
つけておきます
(全部で 6 ヶ所)
←

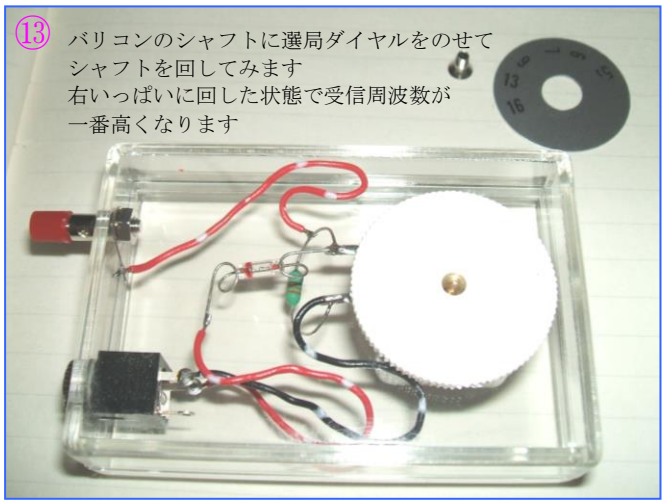

⑧
電線を 3 本をはんだづけします
ダイオードにはんだづけするときは
ヒートクリップで熱を逃がしながら
はんだづけします

⑨
はんだづけ部分の拡大写真です

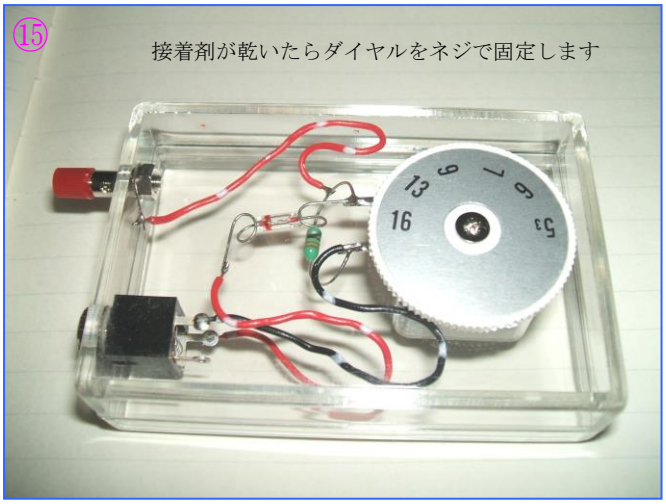

⑩
CBM-223
アンテナ端子
アンテナ端子と
イヤホンジャックを
はんだづけします
イヤホンジャック

⑪
バリコンをケースにネジ止めします
ネジを締める力が強すぎるとケースが割れることがあるので
ほどほどに


⑫
アンテナ端子とイヤホンジャックも
ケースにネジ止めします
CBM-223


⑬
バリコンのシャフトに選局ダイヤルをのせて
シャフトを回してみます
右いっぱいに回した状態で受信周波数が
一番高くなります

⑭
選局ダイヤルと周波数の関係
が確認できたら
ダイヤルに接着剤をぬって
ダイヤルの文字板を接着します
13
16


⑮
接着剤が乾いたらダイヤルをネジで固定します
13
16